

来春に向けて



柘沢ダム

土地改良区の冬の仕事

泉田川土地改良区（新庄市）は、最上地域の1市2町1村の田畑約1,925 haを潤すため、農業用水を貯える「柘沢ダムや小い

良川ダム、川から水を引く「泉田川第一頭首工や同第二頭首工」、農地へ水を運ぶ「幹線水路」など、地域の農業振興を支える重要な施設の操作や維持管理を行っている。

4月下旬から1月中旬までの営農期間が終わり、農業用水の利用がひと段落すると、翌年の営農に向けた準備作業がスタートする。ダムの水位が最も低いこの時期は、水中にあり確認出来なかった

箇所点検や、ゲートなどの機器類のメンテナンス作業を中心に実施するほか、各施設の雪囲い作業など、降雪までの短期間で必要な作業が多岐にわたる。また、冬季期間にいつでも施設の安全確認が出来るよう、ほぼ毎日除雪作業を行っている。

職員の思い



泉田川土地改良区
左：淀川専門員 右：今田専門員

重要なことは、来春の営農時期に、末端の水路まで確実に水が行き渡ることです。

農業水利施設は古いものが多くなってきており、随時補修や更新を行う必要があるため、日々の点検がとても重要です。

特に非営農期間では、来年の田植えの時期に異常なく用水を運べるよう、施設の入念な点検を行っています。

土地改良区とは？

土地改良区とは、土地改良事業を行うために農家で作る組織である。土地改良区は、全国に約4,300あり、ほ場整備をしたり、農業用ダムや水路など様々な土地改良施設の維持や管理を行っている。

そんな土地改良区の仕事や土地改良事業について、広く知ってもらいたいという思いから水土里ネットやまがた最上支部では、令和4年9月にホームページ「んだじゅ！水土里ネット」を開設している。



↑ホームページはこちらから



ダムの除雪作業



冬の間もダムの点検ができるように、ダム堤体及び周辺の除雪作業を実施。

ダムのゲートの点検



ダムのゲート操作が問題なくできるよう、定期的に巻上機の動きに異常がないかを点検。

ダムの漏水計の点検



ダムに異常がないかを確認するために、ダム堤体にかかる下からの水圧を確認。

泉田川土地改良区管内マップ



頭首工の点検



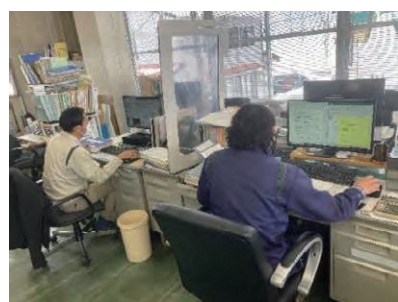
頭首工を維持していくために、構造物に大きな異変がないか、劣化状況などを点検。

水路の目視点検



状況に応じて適切な対処ができるよう、幹線用水路のひび割れや漏水など、劣化状況を点検。

事務作業



今年行った事業の報告書作成など、事務所内での事務作業を行う。